

学外実習A（インターンシップ）

選 択

開講年次：3 年次集中

科目区分：実 習

単 位：2 単位

講義時間：60 時間

■**科目のねらい**：企業等において一定期間の就業体験をすることによって、各職場の実情を理解させるとともに、「仕事」とは何かを学生自身に考えさせる。事前学習において、社会人としての自覚やマナーを十分指導するとともに、学生には実習先となる企業等を調査・研究させ、その上で、企業等において大学で学んだ知識・技術を実践させ、事後にはレポートとしてまとめさせる。

■**到達目標**：①インターンシップ制度に関する知識の習得
②社会人マナーの習得
③社会観および職業観の習得

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎福田 大年・三谷 篤史・須之内 元洋・金子 晋也

■**授業計画・内容**：

第 1 回 オリエンテーション（4月11日）

第 2 回 インターンシップで何を学ぶか（5月9日）

第 3 回 社会人マナー講習（6月6日／予定）

第 4 回 マッチングについて（6月27日）

第 5 回 インターンシップ実施に向けて（7月18日）

第 6 ～ 29回 研修先における実習（8月中旬～9月中旬頃、1～2週間程度）

※報告書作成・提出（研修終了後1週間以内）

第30回 最終報告会（11月上旬頃）

■**教科書**：授業時にプリントを配布します。

■**参考文献**：授業時に適宜紹介します。

■**成績評価基準と方法**：授業態度および出席30%、研修先での評価30%、各種提出物（研究レポート、報告書等）40%により、総合的に評価します。

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
定期試験					
小テスト・授業内レポート					
授業態度	◎	◎	○	積極的な姿勢	20
発表					
課題・作品	○	○	◎	各種提出物の充実度	40
出席	○	○	○	報告会プレゼン参加含む	10
その他	○	◎	◎	研修先での評価	30

特別な理由なく社会人マナー講習を受講しない学生には、研修先での実習を中止する場合がありますのでご注意ください。

■**関連科目**：

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：現場における就業体験を通して実社会の見聞を広め、職業に対する意識を啓発するとともに、自己能力を涵養して、将来の進路決定に役立てます。自分を知り、社会を知る好機となりますので、多くの学生の参加を期待します。